

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価に関する報告書
(平成29年度事業対象)

平成30年9月

飯山市教育委員会

目 次

I 点検・評価制度の概要	1
1 自己点検・評価の考え方	
2 点検評価の対象事業	
3 点検評価の方法	
II 点検評価の結果	2
1 教育委員会及び教育委員の活動	2~4
(1) 教育委員会及び教育委員の平成 29 年度開催実績	
2 教育委員会の事務事業評価の結果	5~29

I 点検・評価制度の概要

1 自己点検・評価の考え方

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

教育行政の推進にあたり、その政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成29年度教育委員会事務事業について自己点検・評価を実施した結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の対象事業

点検・評価の対象事業は、原則として、教育委員会会議及び委員の活動、重点事業として取り組んだ主な事務事業としています。重点事業の目安として、飯山市総合計画の3か年実施計画に掲載（ハード 500 万円以上、ソフト 100 万円以上の2次経費＋新規事業）及び、その他必要と認めるものとし、飯山市総合計画の重点施策項目により配列しました。

3 点検評価の方法

教育委員会会議及び委員の活動については年間の活動状況を報告し、事務事業については対象事業ごとに、取り組み内容及び結果、決算額、評価、今

後の取り組み・課題等を掲載したものを報告します。

なお、評価にあたっては、飯山市総合計画、飯山市総合戦略、飯山市教育大綱に掲げる目標数値やコストとのバランスなどを勘案し、次の4区分の評価とします。

「順調」…優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている

「概ね順調」…優れた取り組みがいくつかあり、成果は上がっている

「要検討」…一定の成果は上がっているが課題もあり、改善の必要がある

「要改善」…成果は十分上がっておらず、改善の余地が多く抜本的な見直しが必要

II 点検評価の結果

1 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会及び教育委員の平成29年度開催実績

教育委員会及び教育委員は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、平成29年度においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。

○会議回数13回、審議案件31件

開催日	議 決 事 項
4月27日	・飯山市美術館運営協議会委員の委嘱について ・飯山市ふるさと館運営協議会委員の委嘱について ・飯山市社会教育委員の委嘱について ・飯山市公民館運営審議会委員の委嘱について
5月24日	・平成29年度一般会計6月補正予算案（教育委員会関係）について ・飯山市要保護・準要保護児童等就学援助費支給要綱の一部改正案について ・飯山市立小中学校における教育職員の勤務時間の割振り実施要領の策定案について ・飯山市図書館協議会委員の任命について
6月23日	議決事項なし
7月28日	・市指定文化財の指定解除について

8 月 29 日	・平成 30 年度小学校教科用図書（道徳）の採択について ・平成 29 年度飯山市一般会計 9 月補正予算案（教育委員会関係）について
9 月 21 日	議決事項なし
10 月 26 日	・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について ・区域外就学の承諾について ・市指定文化財の指定解除について
11 月 20 日	・平成 29 年度一般会計 12 月補正予算案（教育委員会関係）について
12 月 19 日	・飯山市公民館（木島・常盤）公民館長の任命について ・飯山市公民館専門部員の委嘱について・区域外就学の承諾について
1 月 23 日	・区域外就学の許可について
2 月 20 日	・平成 30 年度一般会計予算案（教育委員会関係）について ・市立飯山図書館規則の一部を改正する規則案について
3 月 5 日	・平成 30 年度飯山市立小中学校長の内申について ・専決処分（区域外就学の同意）の承認を求めることについて
3 月 21 日	・飯山市公民館長の任命について ・飯山市公民館（飯山・秋津・柳原・岡山）公民館長の任命について ・飯山市公民館専門部員の任命について ・飯山市立中学校における部活動指導員設置要綱案について ・飯山市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則案について ・飯山市文化財の指定について ・飯山市ふるさと館運営協議会委員の推薦について ・飯山市保育園・学校課題検討委員会からの中間提言について ・区域外就学の承諾について

○その他会議・活動

・教育委員協議会（定例会前）7 回

・総合教育会議

6月26日：講演「飯山高等学校の現状と課題について」

教育大綱の進捗状況について　ほか

3月20日：飯山市保育園・学校課題検討委員会からの中間提言について　ほか

飯山市の教育行政全般について、市長の招集により教育長・教育委員が出席し、協議及び調整、学識経験者からの意見聴取（講演）等を実施した。

・学校・保育園課題検討委員会（教育長及び教育長職務代理）

諮問：「飯山市保育園・学校の課題等に関すること」（7月28日）

教育長より検討委員会委員長に対して少子化にともなう適正規模や保育・教育環境の将来像についての提言を諮問。

委員会：7月28日、9月20日、10月24日、11月15日、
12月20日、2月20日　計6回　開催

中間答申：「飯山市保育園のあり方に関する中間意見書」（1月22日）

検討委員会委員長より飯山地区市立保育園の統合等について中間提言（答申）がなされた。

・校長・教頭・新任教諭辞令交付式（4月）

・保育園・小中学校入園・入学式（4月）

・保育園・小学校運動会（5・6・9・10月）

・中学校文化祭（9月）

・保育園・小中学校卒園・卒業式（3月）

・飯水地方教育委員会連絡協議会総会（5月24日：栄村役場）

・学校・保育園訪問：7月11日　常盤小

6月28日　常盤・瑞穂保育園

・市PTA連合会との懇談会（6月20日）

・教育委員交代：田中妙子教育長職務代理者（10月11日まで）、
吉越邦榮教育長職務代理者（10月12日～）

・長野県女性教育委員連絡協議会研修総会出席（6月14日）

・長野県女性教育委員連絡協議会東北信ブロック研修会出席（9月25日）

・長野県市町村教育委員会連合会総会・研修会出席（10月27日）

・飯水地方教育委員会連絡協議会視察

（9月27・28日：岐阜市立岐阜小学校）

・その他各種会議、大会、式典等への出席多数。

2 教育委員会の事務事業評価の結果

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
1	学力・体力向上事業の充実	学力向上総合対策事業	概ね順調	子ども育成課
2		わかる授業・確かな学力育成事業	概ね順調	子ども育成課
3		中学校国際交流事業	順調	子ども育成課
4		英語教育推進事業	概ね順調	子ども育成課
5	教育環境と教育施設の充実及び検討	小学校施設整備事業	順 調	子ども育成課
6		心の教室相談員設置事業	概ね順調	子ども育成課
7		特別支援教育支援員配置事業	概ね順調	子ども育成課
8		小中学校図書館図書整備事業	概ね順調	子ども育成課
9		平和学習事業	順 調	子ども育成課
10		教育指導主事設置事業	概ね順調	子ども育成課
11		不登校児童生徒支援事業	概ね順調	子ども育成課
12		小学校施設リニューアル整備事業	順調	子ども育成課
13		城南中学校移転事業	順調	子ども育成課
14		小中学校 I C T 教育推進事業	概ね順調	子ども育成課
15	地域で支える教育環境の推進	冬期学校スポーツ振興事業	順調	子ども育成課
16		総合教育推進事業	順調	子ども育成課
17		育英資金貸付事業	概ね順調	子ども育成課
18	生涯学習環境の充実と生涯学習意識の高揚	飯山雪国大学事業	順調	市民学習支援課
19		地区館事業	順調	市民学習支援課
20	知の循環型社会の構築推進、図書館の充実	読書普及事業	順調	市民学習支援課
21		図書館環境整備事業	順調	市民学習支援課
22		芸術文化振興事業	概ね順調	文化交流課
23	伝統文化の尊重・継承	文化財調査整備事業	概ね順調	市民学習支援課
24		文化的景観保護推進事業	順調	市民学習支援課
25	ふるさと館を活用した地域文化の学習推進、情報発信	ふるさと学習推進事業	概ね順調	市民学習支援課

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
26	芸術文化の振興	企画展開催事業	概ね順調	文化交流課
27		花園大学歴史博物館との連携事業	概ね順調	文化交流課
28	文化交流館「なちゅら」の多面的活用	飯山市文化交流館運営事業	順 調	文化交流課
29	スポーツやレクリエーションの振興	スポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進室
30		ジュニアスポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進室
31		スポーツツーリズム推進事業	概ね順調	スポーツ推進室
32		第70回全国高等学校総合スキー体育大会開催補助事業	概ね順調	スポーツ推進室
33	スポーツ関連施設の維持・充実・強化	体育施設整備事業	概ね順調	スポーツ推進室
34	人権意識の向上	人権同和教育推進事業	概ね順調	人権政策課
35	男女共同参画社会づくりの推進	男女共同参画推進事業	概ね順調	人権政策課
36	子育て支援の推進	児童手当給付事業	順調	子ども育成課
37		児童扶養手当等給付事業	順調	子ども育成課
38		延長保育委託事業	順調	子ども育成課
39		通園バス運行事業	順調	子ども育成課
40		児童クラブ等運営事業	概ね順調	子ども育成課
41		子育て支援事業	順調	子ども育成課
42		幼稚園就園奨励事業	順調	子ども育成課
43		児童福祉施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
44		一時預かり委託事業	順調	子ども育成課
45		仮称「飯山市子ども館」整備事業	順調	子ども育成課
46	地域で支える子育て環境整備の推進	家庭児童相談室設置事業	順調	子ども育成課

事業名・担当課	No. 1	学力向上総合対策事業	子ども育成課
事業概要	小中高連携による学力向上の取組を継続、小中学校へ10名の学力向上支援員を配置。		
取組内容及び成果	・平成25年度からの第4次飯山市学力向上事業の最終年度にあたり、学力向上支援員の配置により、きめ細かな少人数指導及びTT指導が実現できた。学力向上支援員の配置（10名）秋津・飯山・泉台・常盤・東・木島小：各1名、城南・城北中：各2名 ・小中高の校種間連携交流により、12年間を見通す効果的なカリキュラム研究を推進し、校種を超えたTTの実践やこれまでのつまずき調査をもとに、学力向上のための授業改善がはかられた。 ・学力向上夏期研修会（6/23 飯山小） 講師：田村学氏（文科省初等教育局視学官） 演題：学習指導要領の改訂 ・飯山市中高交流学力向上事業委員会へ補助金交付（120千円） 5/8 中高交流事業連絡会 7/13 中高交流事業発表会（城南中・飯山高）		
決算額	10,315 千円	評価	概ね順調
今後の取組 ・課題等	第4次学力向上事業の評価と今後の取組内容についての検証が必要。小中連携、中高連携のさらなる追求、連携教科の拡大を目指したい。また、新学習指導要領実施にむけた職員研修を充実させ、教師力・授業力の向上を図りたい。		

事業名・担当課	No. 2	わかる授業・確かな学力育成事業	子ども育成課
事業概要	全国学力標準テスト（小学生2教科、中学生5教科、年2回）を実施し、小中学生の学力レベルや得意・不得意、学習意識を把握し、指導の改善につなげ、学力向上を図る。調査結果に基づく分析を行い、学年会等を通じて授業改善や指導改善に活かす。信州大学からの専門的指導も実施。		
取組内容及び成果	全国学力標準テスト（春期、冬期の2回実施）を全校で受験し、授業改善を図るPDCAサイクルづくり、学力向上につなげる取組を推進。また、個別の分析結果を基に学習に困り感のある児童生徒に対して「補充学習」等が可能となり、よりきめ細かな指導を行う体制が築けた。 文科省による全国学力調査では、小学校算数・国語が全体として平均を下回り、中学校数学・国語では平均以上の結果となった。 学力標準テスト結果は、教科や学年でばらつきはあるが全国比較で平均以下が多い結果となっている。 学力向上委員会 4/21 7/18 9/26 12/14 2/23 学年会・教科会 5/9 6/13 7/27 10/26 11/15		
決算額	3,344 千円	評価	概ね順調
今後の取組 ・課題等	当市中学生の英語の低学力状況は大きな課題であり、英語教育の強化・推進が望まれる。2020年完全実施となる小学校「教科英語」のためにも「GTEC」等の導入を検討していきたい。		

事業名・担当課	No. 3	中学校国際交流事業	子ども育成課
事業概要	平成 13 年の交流開始から中国深圳外国語学校と飯山第一中学校そして飯山市教育委員会が交流を継続してきた。また平成 26 年に豪州バサーストハイキャンパス校と姉妹校協定を締結し、市内中学校との交流を通し生徒の視野を広げ、国際化社会に対応できる人材育成を目指している。 両校と相互に訪問、ホームステイを実施し、授業に参加するなど学校での交流を行う。		
取組内容及び成果	・深圳外国語学校から生徒 10 名が来日し、4 泊 5 日で飯山の中学生との交流、ホームステイなどで国際交流ができた。 ・バサースト校から生徒 25 名が来日し 4 泊 5 日で飯山の中学生との交流、ホームステイなどで国際交流ができた。 ・城南中 4 名、城北中 4 名、飯山高校 2 名計 10 名の生徒がバサースト校を訪問し、ホームステイなどを通じて国際交流ができた。 ・外国の生徒との交流機会が増え、中学生の国際感覚を養うことに繋がっている。		
決算額	4,685 千円	評 価	順調
今後の取組 ・課題等	・より多くの中学生が中国、オーストラリアを訪問し、国際感覚を身に付けたり、外国語力を高めることが望ましい。来日時の交流のひろがり的大事にしていきたい。 ・ICT 機器等を活用した日頃からの交流の可能性も探りたい。		

事業名・担当課	No. 4	英語教育推進事業	子ども育成課
事業概要	英語教育の充実のため、従来の事業を統合再編し、小中学校の英語指導助手（A L T）配置、中学校の英検受験補助事業を行い、児童生徒の英語力向上を図った。		
取組内容及び成果	小学校は城南中校区（秋津・飯山・木島小）、城北中校区（泉台・常盤・戸狩・東小）に A L T を各 1 名 計 2 名配置、中学校は各 1 名配置。 また、中学生の英検受験料補助を創設し、39 名に 71 千円を補助した。 小中学生の国際感覚、英語コミュニケーション能力の向上が図られた。		
決算額	15,305 千円	評 価	概ね順調
今後の取組 ・課題等	平成 30 年度から、小学校英語の授業時数増がスタートするため、A L T 増員とともに、英語教育全体をコーディネートできる人材が必要。また小学校教員の英語指導に対する意識も課題。		

事業名・担当課	No. 5	小学校施設整備事業	子ども育成課
事業概要	小学校施設の老朽箇所の修繕を行い備品を整備した。		
取組内容及び成果	常盤小学校給食調理室エアコン整備工事 3,532 千円 泉台小学校プール吐水配管修繕工事 1,620 千円 東小学校給食調理室トイレ改修工事 1,059 千円 戸狩小学校屋外フェンス改修工事 540 千円 旧岡山小学校プール機械室解体除去工事 1,188 千円 秋津小学校電気温水器設置工事 756 千円 戸狩小学校ガス炊飯器入替工事 1,080 千円 旧岡山小学校プール解体撤去工事 4,828 千円 飯山小学校屋根修繕工事 486 千円 他 小学校 7 校の小破修繕、消耗品費等		
決算額	19,066 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	老朽化による修繕要望は多数あり、計画的な施設修繕のためには長寿命化計画の策定が必要。		

事業名・担当課	No. 6	心の教室相談員設置事業	子ども育成課
事業概要	城南・城北中の各学校に生徒からの相談を受ける「心の教室」を設置し、相談員（2 名）を雇用した。		
取組内容及び成果	本市が県や国に比較し、不登校生徒在籍率が極めて低いのは、心の相談員が心配な生徒に事前に声掛けや相談活動を行うことにより、早期発見・早期対応していることによる。また、相談室は、登校はできるものの教室に入れない生徒の居場所ともなっており、教室復帰に向けた足がかりの場としても有効に機能している。 不登校生徒在籍率 H24 年 4.41%(県 2.60%国 2.56%)⇒H29 年 2.05%(県・国不明)		
決算額	1,515 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	「心の相談員」「不登校対策支援員」「家庭相談員」等のそれぞれの役割を明確化しながら、当市ならではの「不登校防止、早期対応」の有効な体制やシステムを構築していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 7	特別支援教育支援員配置事業	子ども育成課
事業概要	日常生活や学習に支援の必要な児童生徒に対応する支援教員及び介助員を配置した。		
取組内容及び成果	就学相談委員会の判定と異なる児童の入学や、発達障がいを抱える児童生徒が増加する中、支援教員や介助員を各校に配置することにより、障がいの特性を踏まえた、それぞれの児童生徒に応じた指導や支援が可能となっている。 ・秋津 (2)・飯山 (2)・泉台 (1)・常盤 (1)・戸狩 (1)・木島 (1)・城南 (1) 計 9 名		
決算額	8,854 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	インクルーシブ教育、障がいのある児童生徒への合理的配慮等を備えた特別支援教育の実現のためには、地域性を踏まえた支援体制の構築が望まれる。飯山小学校の通級指導教室(県費)や飯山養護学校との連携を推進するとともに、障がいのある子どもや保護者の多様なニーズに応えるためにも支援員や介助員の配置は今後も必要である。		

事業名・担当課	No. 8	小中学校図書館図書整備事業	子ども育成課
事業概要	小中学校の図書館図書の充実を図る。		
取組内容及び成果	学校図書館図書標準に基づき、学校へ予算を配当し児童生徒用の図書を購入した。平成 28 年度に導入した学校図書館用システムを活かしつつ学校図書館司書(嘱託・兼務有)による、図書室の魅力アップも図られている。 小中学校の年間ひとりあたり図書貸出冊数 小学校 95 (前年比+3) 中学校 19 (前年比+4)		
決算額	4,300 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	計画的に各学校で図書を購入し、古い図書の廃棄や整理もあわせて進め、利用したくなる図書館づくりが必要。		

事業名・担当課	No. 9	平和学習事業	子ども育成課
事業概要	8月6日広島平和式典への参列(中学生10名)及び満蒙開拓団の学習(中学3年生)等平和の大切さについて中学生が学習した。		
取組内容及び成果	平成28年度から中学3年社会科歴史的分野において、「第二次世界大戦と満蒙開拓団」の単元名でカリキュラムを作成し授業を実施している。 ・満蒙開拓平和記念館の三沢亜紀事務局長の講演会を両中学校で実施。 広島平和祈念式典に参加した生徒が文化祭などで報告し、体験を共有することができている。 広島の様式典への参加を希望する生徒が増加している。		
決算額	695 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	テレビドラマになった満州引揚にかかわる丸山邦雄氏の業績等を授業に取り込みながら、生徒が主体的に関わる飯山らしい平和学習をさらに工夫していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 10	教育指導主事設置事業	子ども育成課
事業概要	学校における教育課程、学習指導その他専門的事項の指導のため、教育指導主事を雇用した。		
取組内容及び成果	・校長会と連携した第四次学力向上事業、飯山高校との中高交流学力向上事業の推進者として、学力向上に努めた。 ・不登校対策委員会やふるさと教育推進委員会を立ち上げ、不登校者数の減少に努め、また、正受老人物語の発刊や満蒙開拓団の教材開発を行った。 ・いじめ問題対策をはじめ、教育現場における諸課題に対して校長と連携を図りながら解決に当たり、安定した教育環境を築くことができた。		
決算額	2,289 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	学力向上への積極的なアプローチを継続的に実施することが必要。英語教育の強化のための英語指導主事を置くことにより、授業改善・職員研修・ALTの指導力向上を図りたい。		

事業名・担当課	No. 11	不登校児童生徒支援事業	子ども育成課
事業概要	長期の不登校生及びその家庭への支援・指導を行うため、両中学校へ不登校対策支援員（3名）を雇用した。		
取組内容及び成果	長期欠席や引きこもり傾向にある不登校生徒に対して、自宅～学校間の登下校支援や家庭訪問支援を行うことにより、対象生徒及び保護者との信頼関係を築きながら、登校意欲を喚起すると共に、学習相談や学力向上支援、進路実現に向けた相談活動等に当たった。 不登校対策委員会 6/22 中学校不登校者数 30名（H24）⇒12名（H25）⇒11名（H26） ⇒6名（H27）⇒6名（H28）⇒11名（H29）		
決算額	2,538 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	不登校傾向に陥る児童生徒が増加しており、その原因の見極めと適切な支援が求められている。小学校も含め不登校対策支援員の役割が重要になると共に、増員していくことが必要となる。		

事業名・担当課	No. 12	小学校施設リニューアル整備事業	子ども育成課
事業概要	国の交付金等を活用し、設置後一定年数が経過した小学校のリニューアル工事を実施した。		
取組内容及び成果	飯山小学校屋根塗装工事 11,999 千円（H27～H29 の3年目） 東小学校トイレ改修工事 33,470 千円（H28 国補正事業の繰越） 老朽化した学校施設の大規模改修が進み、教育環境の向上が図られた。		
決算額	45,468 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	市内小学校はいずれも建築後 30～40 年が経過しており、今後は長寿命化計画を策定し、国の交付金等を使いながら計画的に大規模改修を行い、教育環境の向上を図りたい。		

事業名・担当課	No. 13	城南中学校移転事業	子ども育成課
事業概要	平成28年度2学期に移転開校した城南中学校の改修整備工事や備品整備を引き続き行った。		
取組内容及び成果	笹本文庫整備 7,020 千円 学校プール改修工事 14,148 千円 校務用 PC 購入(9 台) 917 千円 小体育館天井改修設計監理委託 918 千円 (H28 繰越) 小体育館天井改修工事 19,538 千円 (H28 繰越) 他、移転に係る委託、工事、備品整備等を実施し、教育環境の向上が図られた。		
決算額	43,212 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	移転に伴う整備等は完了したが、校舎自体の経年劣化は指摘されているので、引き続き営繕は必要。		

事業名・担当課	No. 14	小中学校 I C T 教育推進事業	子ども育成課
事業概要	新学習指導要領において必須である ICT 教育の推進のため、小中学校のパソコン・タブレット等の整備、無線 LAN 環境整備等を実施。 学校の ICT 活用委員会とも連携し、よりよい ICT 環境の整備方策を探っている。		
取組内容及び成果	小学校へのタブレット端末等整備。(戸狩小、常盤小、東小) 無線 LAN 環境整備工事(戸狩小) 3,705 千円 無線 LAN 環境整備工事(常盤小) 2,960 千円 無線 LAN 環境整備工事(東小) 3,035 千円 タブレット PC 購入(50 台, 収納カート) 2,538 千円 校務用 PC 購入(36 台) 3,670 千円 マイクロオフィスソフト購入(中学校) 1,035 千円 他、ICT 機器の活用に伴う設定委託、備品整備等。 無線 LAN 整備、児童生徒用タブレット PC などの整備が進み、ICT 教育の環境が整ってきた。		
決算額	18,073 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	機器の整備を計画的に進め、2021 年度までに全小中学校で ICT を活用した教育ができるようにする必要がある。学習支援ソフトの選択と活用、プログラミング教育実施など、教育現場の実践力にも課題は残る。		

事業名・担当課	No. 15	冬期学校スポーツ振興事業	子ども育成課
事業概要	飯山市の特徴的なスポーツであるスキーの振興を図るため、小学校2回、中学校1回のアルペンスキー教室を実施した。		
取組内容及び成果	スキー指導員委託料（小2回・中1回）1,790千円 リフト使用料・バス借上げ料（2回目）1,191千円 飯山ならではのスキー教室を通じ、雪に親しみ雪の飯山の価値を実感できる教育が実践できた。		
決算額	3,099 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	クロスカントリースキー同様、引き続きスキーの普及に努めたい。		

事業名・担当課	No. 16	総合教育推進事業	子ども育成課
事業概要	学校米づくり・コミュニティ・スクール講師謝礼・総合的な学習の時間への交付金、特色ある教育交付金（市校長会）等、飯山独自の教育を推進した。		
取組内容及び成果	・米づくり学習 各校で米づくり学習や地域との交流を実施。 ・総合的な学習の時間で、各学校が特色ある教育活動を実施。 総合的な学習：小3～中3 1クラス10,000円を交付。 市校長会補助：各校の特色ある活動への交付。 ・全小中学校でコミュニティ・スクールに取り組む（文科省型3校、信州型6校） ・29年度は、副読本「正受老人物語」の改訂・増刷を実施（2000部）		
決算額	2,574 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	米づくり学習、地域出身者との交流、地域の方々の力を学校教育に活用する工夫などコミュニティ・スクールの視点を持ちつつ、各学校学級独自の活動・取り組みに引き続き支援が必要。		

事業名・担当課	No. 17	育英資金貸付事業	子ども育成課
事業概要	将来長野県の小中学校の教員を目指す大学生への無利子の奨学金貸付制度のため、育英基金に積み立てを行う。		
取組内容及び成果	平成26年度から教員志望の大学生向けの貸付制度を開始した。平成28年度末で9名の大学生へ月額4万円を貸付中。 平成29年度はあらたな奨学生は無かった。		
決算額	1,016 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	教員を目指す学生に限らず、一般の大学生に対する貸付も検討が必要。		

事業名・担当課	No. 18	飯山雪国大学事業	市民学習支援課
事業概要	講座やセミナーの開催を含めた、公民館の学習活動である雪国大学の運営を行う事業です。		
取組内容及び成果	・夏休み、春休み体験教室 ・女性セミナー ・子育てセミナー ・各種講演会 ・各種成人講座 ・文化講演会等多くの事業を開催しており、参加者も増加傾向にある。 ・7/22 文化講演会 細川護熙 氏 ・6/10 ビューポイント巡り（古墳） ・8/27 満蒙開拓講演 大日方悦夫 氏 ・本町商店街との連携事業 ・9/30, 10/1 演芸会 近藤育実凱旋公演（日光さる軍団） ・10/28 清原伸彦講演会 ・3/18 寺沢秀文満蒙講演会 等		
決算額	2,489 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	公民館運営審議委員、運営委員等からの意見を聞き、市民ニーズの把握と時節の話題を取り込んだ事業に取り組む。		

事業名・担当課	No. 19	地区館事業	市民学習支援課
事業概要	各地区公民館での地域活性化及び各種講座・講演会の開催を行う事業です。		
取組内容及び成果	かたくり鑑賞会、かえるの学校、夏休み寺子屋、とうふ作り、外様講演会、柳原講演会、常盤講演会、彫金講座、常盤講座「常盤を知ろう」、岡山講演会、太田講演会、岡山講演会、太田通学合宿、飯山老燃教室、外様講演会、ときわ塾等講師謝金 各地区毎に多くの参加者がある。広域に募集できる事業には、地区外の方も多く参加している。		
決算額	1,331 千円	評 価	順調
今後の取組 ・課題等	・各地区の特性を活かした講座を開催し、地区以外の方も積極的に参加していただける事業に取り組む。		

事業名・担当課	No. 20	読書普及事業	市民学習支援課
事業概要	・図書館資料の購入。 ・読書の普及活動の推進。 ・セカンドブック（出生祝い）事業として絵本の贈呈。		
取組内容及び成果	・蔵書数 122,860 冊（うち笹本文庫 5,134 冊）前年比 2,302 冊増。 ・おはなしひろば（33 回 平均 3.6 組 9.6 人参加）、絵本とわらべうたの会（48 回 平均 7 組、14.6 人参加）、ブックスタートの会（110 人中 78 人参加 出席率 71%）、絵本講座（4 回開催、参加延べ 29 組参加）、保育園貸出（約 180 冊、年 4 回入替）、図書館まつりの開催、講演会講師として司書派遣等。 ・3 月の 10 か月健診（H29.4 月生れ）4 人に贈呈。		
決算額	4,367 千円	評 価	順調
今後の取組 ・課題等	・公共図書館として資料購入の最低予算額 400 万円を堅持。 ・セカンドブック（出生祝い）事業の評価。 ・子ども読書推進計画の評価と第 2 次計画の策定。		

事業名・担当課	No. 21	図書館環境整備事業	市民学習支援課
事業概要	・インターネット予約・資料検索などの図書館システムの賃貸借契約及び保守委託契約、書籍データベース及び学習件名ファイルの使用。 ・開架室の障子の張り替えを実施した。		
取組内容及び成果	・図書館システムの利用により図書館業務の効率化、Web 予約と検索機能の充実が図れた。 ・障子の張り替えにより開架室が明るくなった。		
決算額	4,971 千円	評価	順調
今後の取組 ・課題等	・図書館システムの賃貸借と保守委託は、平成 30 年度から「図書館管理運営事業」(一次経費)になります。 ・建設後 30 年経過し、部品保有期間も過ぎたため、エレベーターの更新とトイレのシャワートイレ＋バリアフリー化工事の実施等が必要。		

事業名・担当課	No. 22	芸術文化振興事業	文化交流課
事業概要	市民の芸術文化活動を支援し、いっそうの関心を高め、芸術文化人口の増加と芸術文化水準の向上を図る。		
取組内容及び成果	・芸術文化市民団体が開催する事業に対し支援（補助）した。各団体の発表の機会の創出を目的の一つとすることで、互いに刺激しあう場の支援にもなった。【市民芸術祭…参加者数 665 名、来場者数 1,240 名】【芸術文化月間…12 団体で事業実施】 ・幼児期から芸術文化に触れる機会を提供した。市内に通園する年長児を対象とし、保育士や保護者からは参加型で最後まで飽きずに楽しめたとの感想とともに、継続を望む意見が多数あった。 【文化交流館で「チリンとドローンのコンサート」を公演。園児及び保育士、保護者ほか 200 名参加】		
決算額	1,473 千円	評価	概ね順調
今後の取組 ・課題等	活動団体の構成員の高齢化が顕著である。若者層の芸術文化に触れる機会や活動の場の提供などに取り組んでいく必要がある。		

事業名・担当課	No. 23	文化財調査整備事業	市民学習支援課
事業概要	埋蔵文化財・遺跡等の調査や整備を行い、文化財の保護につなげる。		
取組内容及び成果	・発掘調査 4月 市民会館取壊しに伴う飯山城跡発掘調査 6月 子ども館建設に伴う飯山城跡発掘調査 10月 道路拡幅工事に伴う北飯山遺跡発掘調査 ・県史跡の飯山城石垣整備 石垣の変位測量調査を継続して行い、危険個所の早期発見に努めると共に有識者による適正な整備の検討を実施している。		
決算額	4,007 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	文化財保護法に基づき、適正な調査や整備を行っていく。飯山城跡の石垣整備については、孕みや隙間の大きい個所の変位測量を実施しながら、必要に応じ積み直し等の修理を行い文化財の維持に努める。なお、石垣や伝統的建築物などの修復整備には、専門的な知識や技術を要するため時間と予算が必要である。		

事業名・担当課	No. 24	文化的景観保護推進事業	市民学習支援課
事業概要	国の重要文化的景観に選定された小菅を中心としたエリアについて、地域住民と連携を図りながら、景観の保護及び活用のための整備を進める。		
取組内容及び成果	・整備計画書を作成 (住民説明会、小委員会等の打ち合わせ会議、文化庁と住民との意見交換などを経て、住民や有識者の意見を反映した計画書を作成) ・重要構成要素である建物修理への補助 ・護摩堂の修理に向けた学術調査 ・保存整備検討委員会3回開催		
決算額	2,626 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	少子高齢化が進む小菅区において、多くの文化遺産を維持していくことは大きな課題である。また、地域住民が、文化財の指定などの規制により暮らしにくくならないよう、地元との連携を図り、地元住民と行政の信頼関係の構築が重要である。平成29年度に策定する「整備計画書」を基に今後の保存と活用に向けた整備を進めていく。		

事業名・担当課	No. 25	ふるさと学習推進事業	市民学習支援課
事業概要	飯山市の郷土に関する歴史、文化、自然などに関する一般展示、学習会企画展などを行い、飯山を学び、また、郷土愛を育む取組を推進する。		
取組内容及び成果	・企画展の開催 「飯山の街道をゆく」 「ふるさとの衣をつむぐ」古布からみえる飯山の暮らし 「わらじ史学」栗岩英治の探究心と未来へのまなざし 「飯山城下町ひな街道 ひな人形展」 「丸山邦雄展」 ・体験教室（笹もち作り、しめ縄作り、まゆ玉作り、やしょうま作り） ・出張講座、館内学習他		
決算額	763	千円	概ね順調
今後の取組 ・課題等	より魅力ある企画展や学習会などを企画し、市内外の大勢の人に「飯山」を知ってもらおうと同時に、飯山の大切な文化を後世に残していく。		

事業名・担当課	No. 26	企画展開催事業	文化交流課
事業概要	企画展を1回及びギャラリー展を1～2回程度開催し、幅広い美術作品に触れる機会を市民に提供する。その他、郷土の特色を活かしたワークショップなどを公民館と連携して実施する。		
取組内容及び成果	【内容】 ・企画展「中川岳二展 木々の色々」及びギャラリー展「小黒三郎組み木館ズートピア信州展」を同時開催（9/16 -11/12）した。 ・中川岳二展は、国内外から注目されている木工作家・中川岳二（中野市在住）の「寄せ木」と「木象嵌」という高度な技法を駆使した美しく愛らしい木工作品84点を展示。ズートピア信州展では、組み木おもちゃの第一人者・小黒三郎デザインの組み木作品約400点を展示。一枚の板から人や動物の形を切り取り、組み合わせでつくる組み木の世界を紹介した。 ・期間中、中川氏によるギャラリートークやズートピア信州の池田憲一郎館長による組み木づくりの実演や体験会を開催した。 【成果】 ローカルテレビなどメディアにも大きく取り上げられ、市外県外からも大勢の来館があり好評を得た。期間中の入館者数は過去最高の5,417人を記録した。		
決算額	1,982	千円	概ね順調
今後の取組 ・課題等	・今後も、企画展及びギャラリー展、ワークショップを可能な限り積極的に開催していく。 ・特に、特徴ある美術館を目指すうえで、和紙と土を使ったワークショップは継続して深めていくことが必要と考えている。		

事業名・担当課	No. 27	花園大学歴史博物館との連携事業	文化交流課
事業概要	花園大学歴史博物館及び臨済宗妙心寺派と連携し、当市を代表する偉人である正受老人を紹介する事業を開催する。		
取組内容及び成果	【内容】 正受老人と白隠禅師ゆかりの遺墨 50 点を展示し、当市を代表する偉人・正受老人を広く内外に紹介した。展示作品は、東京・静岡・長野県内あわせて 18 カ所から借用した。特に、現存するのは 2 点のみとされる正受老人自筆の絶筆「遺偈」（正受庵所蔵）と自画像「頂相」（永青文庫所蔵）を初めて同時公開した。また、門外不出とされている白隠筆の「正受老人像」（龍澤寺）も併せて展示した。 【成果】 正受老人と正受庵の重要性をあらためて市民にアピールするとともに、市外県外に向けて大々的に紹介する貴重な機会となった。 期間中、なちゅらで開催した細川護熙講演会（7/20）及び西村恵信講演会（8/19）とのタイアップ効果もみられた。		
決算額	8,132 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	本事業は 29 年度で完了したが、正受老人の 300 年遠諱を記念する事業の開催について、臨済宗妙心寺派等と協議していくことを想定している。		

事業名・担当課	No. 28	飯山市文化交流館運営事業	文化交流課
事業概要	多くの市民がいつでも気軽に利用でき、芸術・文化をはじめとしたにぎわいのあるまちづくりの拠点として事業展開する。		
取組内容及び成果	■自主事業の実施 ・多様なジャンルを企画し、市民等に提供した。 【落語、ピアノ音楽、市民第九、バロックなど 14 事業】 ■貸館事業の実施 ・ホールの目標とする稼働率 60% を大きく超え、多目的ルームなどの諸室はほぼ毎日稼働し、利用者の目的に沿った場の提供を行った。主に音楽コンサートをはじめ、企業の研修・商品販売、各種団体の学習会、ダンスの練習等、広範囲の活動に利用された。 【利用件数 1,496 件 利用者数 48,838 人】 ■施設の維持管理の実施 ・当直など外部委託による職員体制の効率化、円滑化を図るとともに、必要な日常管理及び電気・衛生・空調設備などの保守点検を行うことで、安全に利用できる館の機能維持に努めた。		
決算額	49,164 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	当面、幅広い年代層が館に訪れるような多様なジャンルを提供し事業展開を図る。多様な活用方法を提案し館を PR することで、いっそうの利用者の増加を図っていく。		

事業名・担当課	No. 29	スポーツ振興事業	スポーツ推進室
事業概要	市体育協会及びスポーツ関係団体、大会実行委員会等を中心に、誰もが気軽に楽しめるスポーツの環境を整備するため、各種教室や大会の開催、スポーツ選手の育成、強化の支援を行う。		
取組内容及び成果	・各種団体及びスポーツ大会への支援 スポーツ団体の活動を支援することで、市のスポーツの振興が図られている。 ・市民プール運営【32日間、入場者7,857人】 夏場の健康や体力向上、友人、家族などで楽しむ場が提供できた。 ・市駅伝大会【参加チーム：正規16、オープン7チーム】 地区での幅広い世代間の取り組みとして、選手と地域に連帯が生まれている。 ・全国スポーツ大会出場選手激励金【個人24、チーム3】 激励が市民の期待が選手に通じ、また市民のスポーツに対する関心を高める。		
決算額	7,105 千円	評価	概ね順調
今後の取組 ・課題等	年少人口の減少と高齢人口の増加が進む現状から、年齢期に配慮した事業展開を進めている。市民プールに関しては施設の老朽が進み、人工芝マット張替や塗装、トイレ洋式化など大がかりな補修工事が必要になっている。		

事業名・担当課	No. 30	ジュニアスポーツ振興事業	スポーツ推進室
事業概要	市内の各種ジュニアスポーツ大会開催の支援とジュニアスキー活動に対する支援を行う。		
取組内容及び成果	・ジュニア陸上大会、ジュニア水泳大会、ジュニアクロスカントリー大会、ジュニア駅伝大会、市民アルペンスキー大会、サマージャンプ大会、市民スキーフェスティバル等の運営費支援 ・飯山市ジュニアスキー育成連絡協議会への支援		
決算額	6,483 千円	評価	概ね順調
今後の取組 ・課題等	地域の特色であるスキーを軸にしながら、各種スポーツへの参加を幼少期から取り組める環境の整備。 人口減による各種大会の参加者の減少により、今後の大会の存続が懸念されるが、質を落とさない大会運営など関係団体と協議をしていく。		

事業名・担当課	No. 31	スポーツツーリズム推進事業	スポーツ推進室
事業概要	スポーツ資源と観光産業を融合したツーリズム事業		
取組内容及び成果	・スポーツ大会開催を通じ、多くの市外参加者が飯山市を訪れている。 菜の花サイクルレース 203 人参加 シクロクロスミーティング飯山大会 130 名参加 菜の花ゲートボール大会 487 人参加 北信州ハーフマラソン大会 2,326 人参加 ・四季折々の風景と食を満喫できる各種大会は、宿泊を中心とした観光産業に寄与し、市内外のスポーツを楽しむ人たちの交流の場になっている。		
決算額	3,490 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	大会日程やコース・場所は、参加者の増減に大きな影響を与えるので、慎重な選定を心がけ進めたい。 観光産業に寄与するスポーツ大会として、観光関係者など多くの市民の認知度を上げ、どう巻き込んで運営していくか課題である。		

事業名・担当課	No. 32	第 70 回全国高等学校総合スキー体育大会 開催補助事業	スポーツ推進室
事業概要	平成 32 年度冬季インターハイの開催候補地に決定したことにより、競技施設の整備と地元選手の強化を図る。		
取組内容及び成果	スキーインターハイに地元選手の上位入賞を目指し、飯山市ジュニアスキー育成連絡協議会の選手強化・育成事業に支援した。		
決算額	2,077 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	競技会場の施設整備、選手強化を行う。 2000 年インターハイ、2001 年国体以来の大規模な大会の開催で、改修や新設が必要なアルペン、ジャンプ会場の施設整備が急務である。		

事業名・担当課	No. 33	体育施設整備事業	スポーツ推進室
事業概要	体育施設の維持修繕や改修により、施設利用者の安全確保と利便性の向上を進める。		
取組内容及び成果	市民体育館耐震診断委託 一式 勤労者体育館屋根外装塗装等改修工事 屋根 A=1,192 m ² ほか 市営庭球場整備（クレー）工事 A=1,604 m ² 長峰運動公園道路照明施設整備工事 LED 外灯 5 基 施設の老朽化が進んでいるが、修繕により維持され施設利用者のニーズを取り入れた改修も図れ、環境の改善が図られている。		
決算額	23,655 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	市民体育館の耐震設計、耐震改修工事の実施。 各スポーツ施設の長寿命化計画の策定とその財源確保が課題。		

事業名・担当課	No. 34	人権同和教育推進事業	人権政策課
事業概要	人権同和教育を推進するための経費である。 10 月 28 日に第 45 回差別のない明るい飯山市を築く市民大会を開催し、市民の人権意識の醸成と向上に努める。 また、市内小中学校の児童・生徒に副読本「あけぼの」を配布し、人権教育を進める。 その他に、いいやま人権福祉センターにおいて地域住民交流講座を開催する。		
取組内容及び成果	- 第 45 回差別のない明るい飯山市を築く市民大会を開催した。参加者 334 名、市内小中学校児童生徒の人権作文集配布、ポスター・標語展示 561 点 「あけぼの」を市内小中学校へ指導手引と活用手引を含めて配布した。計 883 冊 - 地域住民交流講座には延べ 360 名にご参加いただいた。また、いいやま人権福祉センターで開催した人権講座では 31 名に聴講いただいた。		
決算額	1,085 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	「あけぼの」について、平成 29 年度から中学生も置き本方式から個人配布方式に変更した。 - 地域住民交流講座については、一部の講座でマンネリ化して参加者数が減少しているので新規講座について検討する。		

事業名・担当課	No. 35	男女共同参画推進事業	人権政策課
事業概要	第3次飯山市男女共同参画計画に基づき、男女共同参画社会づくりを推進するための経費である。 6月には男女共同参画週間に合わせて講演会を開催する。 また、随時男女共同参画の意識向上を目的とした講座を開催する。		
取組内容及び成果	・6月24日に落語家の林家花丸さんを招いて講演会を開催し74名に聴講いただいた。 ・7月21日に公民館講堂で開催した人権同和・企業人権教育講座では男女共同参画をテーマに長野大学環境ツーリズム学部教授の古田睦美さんを講師に迎え、講演を行った。102名参加		
決算額	200 千円	評価	概ね順調
今後の取組 ・課題等	・男女共同参画週間に合わせて開催している講演会については今後も例年どおり開催していく。 ・集落学習会で視聴していただくDVDについて、よいものがないか探していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 36	児童手当給付事業	子ども育成課
事業概要	中学3年生までの児童を対象に、国の制度に基づき児童手当の支給を行った。		
取組内容及び成果	・手当支給対象延べ児童数 24,744人・月 ・支給月額 0才～3才未満 15,000円 3才～小学校修了前 10,000円（第3子以降15,000円） - 中学生 10,000円 - 特例給付（一定所得以上）5,000円		
決算額	276,296 千円	評価	順調
今後の取組 ・課題等	国の制度に基づき引き続き事業を実施し、保護者の経済的支援を行うことにより、児童の健全育成を図る。		

事業名・担当課	No. 37	児童扶養手当等給付事業	子ども育成課
事業概要	18才未満の児童を養育するひとり親に対し、国の制度に基づき児童扶養手当の支給を行った。		
取組内容及び成果	・支給対象者144名（対象児童 199名） ・支給月額 全額支給 42,290 円 一部支給 42,280～9,980 円（所得に応じ） ・手当の支給により、ひとり親世帯の生活の安定を図った。 8月の現況届の際に、ハローワークによる出張相談も同時開催。また、土曜日の受付を行った。		
決算額	65,788 千円	評価	順調
今後の取組 ・課題等	・国の制度に基づき引き続き事業を実施し、ひとり親家庭等の児童の福祉向上を図る。 ・受給者に対し、児童扶養手当のみでなく各種のひとり親世帯への支援制度等についても周知を図る。		

事業名・担当課	No. 38	延長保育委託事業	子ども育成課
事業概要	保育時間を超える延長保育を実施。 延長保育は市内公立全園及び私立保育園で実施。（事業費はめぐみ保育園への委託料）		
取組内容及び成果	○延長保育時間 ・保育標準時間認定（7：30～18：30）の場合 7:00～7:30（めぐみ保育園のみ）、18:30～19:30（公立は19:00） ・保育短時間認定（8：30～16：30）の場合 7:00～8:30（公立は7:30～）、16:30～19:30（公立は19:00） 臨時的に保育時間の延長が必要となる家庭に対し、延長保育を実施することにより子育て世帯の支援を行った。		
決算額	6,413 千円	評価	順調
今後の取組 ・課題等	共働き世帯、ひとり親世帯及び核家族化の進行等により、保育標準認定（11時間保育）が増えており、延長保育も含め対応する保育士の確保が年々困難となっている。		

事業名・担当課	No. 39	通園バス運行事業	子ども育成課
事業概要	保育園の統廃合により、遠距離の保育園に通園が必要となった世帯の支援のため、通園バスを運行。		
取組内容及び成果	○運行概要 ・しろやま保育園（斑尾） ・いずみだい保育園（外様） ・瑞穂保育園（瑞穂中央） ・とがり保育園（北瑞） しらかば保育園については、平成29年度から休園。在園児はとがり保育園へ転園となり、保護者と協議の結果バス運行ではなく、遠距離通園補助により通園		
決算額	6,970 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を継続し、遠距離通園世帯の負担軽減を図る。		

事業名・担当課	No. 40	児童クラブ等運営事業	子ども育成課
事業概要	児童に健全な遊び場を与え、健康増進と情操の向上を図るため、児童センター・児童館を設置。また、放課後保護者が不在となる小学生の健全育成を図るため、児童クラブを開設。		
取組内容及び成果	・児童センター 2 館（上町、戸狩） ・児童館 2 館（城山、木島） ・児童クラブ 4 館（秋津、泉台、瑞穂、常盤） 常盤児童クラブは常盤地区の運営委員会へ委託。それ以外については、飯山市社会福祉協議会へ委託。 ・平成29年度より、開館時間を延長。 開館 8:30→8:00（土曜日等）、閉館 18:00→18:30 放課後留守家庭の児童等が安心して過ごせる場を提供するとともに、児童の健全育成が図られた。		
決算額	45,037 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を実施し、児童の健全育成を図る。 なお、上町児童センター・城山児童館は、平成30年度開館の飯山市子ども館へ統合。その他の館については引き続き運営を行うが、利用児童の増により施設が手狭となっている。		

事業名・担当課	No. 41	子育て支援事業	子ども育成課
事業概要	保育園就園前の児童及び保護者の交流と、子育て相談の場として子育て支援センターを運営。また、市民相互の子育て支援事業であるファミリーサポートセンターの運営を行った。		
取組内容及び成果	・飯山市子育て支援センター（しろやま保育園併設、市直営） ファミリーサポートセンター事務局兼 ・北部子育て支援センター（勤労青少年ホーム併設、社協委託） 支援センター延べ利用者数 児童 4,818 名 ファミリーサポートセンター延べ活動回数 159回		
決算額	2,101 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を継続し、子育て世帯の支援を行う。 なお、飯山市子育て支援センターは、平成 30 年度開館の飯山市子ども館へ統合。		

事業名・担当課	No. 42	幼稚園就園奨励事業	子ども育成課
事業概要	私立幼稚園児の保護者に対し、保護者負担の軽減を図るため国の制度に基づき就園奨励費を支給。また、市の保育園と同様に第 3 子の幼稚園保育料を無料とするため、保護者に対し補助を行った。 また、私立幼稚園の経営安定化及び障害児の受入に対し補助を行った。		
取組内容及び成果	・幼稚園就園奨励費 対象者 55 名（8,094 千円） ・第 3 子以降幼稚園保育料無料化補助金 対象児童 9 名（1,544 千円） ・幼稚園運営補助 運営費・障害児受入（1,744 千円）		
決算額	11,384 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	飯山市内唯一の幼稚園であり、今後も引き続き事業を継続し幼児教育の推進を図る。 なお、国の制度改正にあわせ上限額の引き上げ等保護者負担の軽減について検討していく。		

事業名・担当課	No. 43	児童福祉施設整備事業	子ども育成課
事業概要	保育所、児童センター、児童館等の施設改修や修繕、備品購入を行った。		
取組内容及び成果	・秋津保育園遊戯室熱気対策工事 1,674 千円 ・木島保育園屋根外壁改修工事 37,152 千円 ・しろやま保育園未満児用プール 221 千円 他 保育環境の向上及び施設の適切な維持管理が図られた。		
決算額	40,590 千円	評 価	概ね順調
今後の取組 ・課題等	全体的に施設の老朽化が進行しているなかで、大規模修繕が必要な施設が増えており、施設のあり方等を検討する必要がある。特に増加する保育園の未満児への施設的な対応が課題であり、今後の保育園のあり方を検討する中で順次整備を図っていく必要がある。		

事業名・担当課	No. 44	一時預かり委託事業	子ども育成課
事業概要	病気、冠婚葬祭等で一時的に家庭での保育ができない場合に、児童を一時的に預かり、保育を実施。		
取組内容及び成果	実施指定園 公立：しろやま保育園 私立：めぐみ保育園 （事業費は私立保育園への委託費） 保護者の緊急的な保育需要に対応することで、子育て支援を行った。		
決算額	173 千円	評 価	順調
今後の取組 ・課題等	核家族化の進行等により、一時保育についても年々利用者が増えており、今後も引き続き事業を継続し、安心して子育てができる環境を整備し、子育て支援の向上を図る。		

事業名・担当課	No. 45	仮称「飯山市子ども館」整備事業	子ども育成課
事業概要	市の子育て支援施設の中核施設として、仮称「飯山市子ども館」について平成30年度開館を目標に事業を推進した。		
取組内容及び成果	(実施設計業務委託 10,800 千円 (平成28年度より繰越)) ・用地取得 1,801.9 m ² ・建築主体工事 契約額 298,512 千円 ・電気設備工事 契約額 45,360 千円 ・機械設備工事 契約額 43,632 千円 ・施工管理 契約額 3,672 千円 ・外構工事 契約額 9,720 千円		
決算額	333,028 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	平成30年6月開館。 開館後は各機能（児童センター、児童クラブ、子育て支援センター、病後児保育+放課後等デイサービス）の充実や連携を図り、市の子育て支援の中核施設として相談事業の充実など、事業の推進を図るとともに、地域との連携も図る。		

事業名・担当課	No. 46	家庭児童相談室設置事業	子ども育成課
事業概要	児童の発達、養育等の各種相談に対応するため、家庭児童相談員を配置し、支援を行った。		
取組内容及び成果	・相談員3名（室長1名、家庭児童相談員2名） 平成29年度中 新規相談件数72件 平成29年度中 延べ相談訪問件数919件 ・要保護児童対策協議会（代表者会議、実務者会議、連絡調整会議） 複雑な相談・ケースも年々増えており、関係機関（児童相談所、保健所、学校、市関係各課等）と連携を取りながら支援を行った。		
決算額	6,814 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を継続し、児童の養育等福祉の向上を図る。 年々相談件数が増えている状況である。 また、要保護児童対策協議会（児童虐待対策）についても、関係者会議を増やすなど機能強化を図る。		